

(広報資料)

平成23年5月13日
文化市民局
(市民生活部区政推進課 ☎222-3048)
都市計画局
(公共建築部企画設計課 ☎222-3640)
上京区役所
(区民部総務課 ☎441-5027)

上京区総合庁舎整備事業の基本設計について

この度、京都市では、平成22年6月に策定した「上京区総合庁舎整備事業基本計画」に基づき、基本設計を策定致しましたので、お知らせします。

なお、策定に当たっては、区民ワークショップによる市民意見や、市民サービス向上に向けた上京区役所職員による会議での意見を採り入れております。

1 施設概要

- (1) 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
- (2) 階数 地上4階 地下1階
- (3) 敷地面積 約3,600㎡
- (4) 建築面積 約2,363㎡
主体建築物 約2,253㎡
附属建築物 約110㎡ (駐輪場等)
- (5) 延べ面積 約7,933㎡
主体建築物 約7,823㎡
附属建築物 約110㎡ (駐輪場等)
- (6) 最高高さ 約18.4m
- (7) 駐車場 16台

2 施設の内容

- 1階 まちづくり推進課，市民窓口課，保険年金課，エコまちステーション，待合ロビー，会計室，区民交流スペース（交流ロビー），宿直室
- 2階 総務課，市民税課，固定資産税課，納税課，福祉介護課，支援保護課，屋上緑化
- 3階 保健部執務室，診療室，相談室，検査室，栄養改善室，多目的室，電気室，屋上緑化
- 4階 会議室，区民交流スペース（会議室，和室），屋上庭園整備

地階 防災備蓄倉庫，業務用倉庫，機械室等

3 設計方針と特徴

平成22年6月に策定した上京区総合庁舎整備基本計画を設計方針とし、主に次の特徴を有する設計とした。

(1) 区民に開かれた親しみやすい総合庁舎

区民交流スペースを含めた吹き抜けエリアは、区民の皆様が気軽に立ち寄れるよう配慮するとともに、明るく、開放的な内部空間とする。

また、木の温かみや質感により、区民の皆様が親しみやすい総合庁舎とするため、床や壁の仕上げ材に木材を利用した内装を行う。

(2) 区民の自主活動をはぐくむ総合庁舎

ボランティア活動や展示・発表会等のグループ活動を支援するため、1階に区民交流ロビー、4階に区民交流会議室として2室（うち1室は和室）を設け、区民の皆様のさまざまな自主活動の場とする。

(3) 誰もが安心して利用できる総合庁舎

各課の窓口がわかりやすい案内表示、トイレのオムツ替えベッド・補助手すり、オストメイト設備、非常呼出設備の設置など、誰もが利用しやすく、人にやさしいユニバーサルデザインの考え方を採用する。

防災拠点として、非常用発電設備、災害備蓄倉庫を設置する。

(4) 上京の伝統・文化をはぐくみ景観に配慮した総合庁舎

上京の伝統と先進性の調和を目指した外観デザインとする。具体的には、縦格子や板目模様の外壁、瓦葺きとした軒庇など、和のデザイン意匠を採用することで伝統性を表現する一方、「新景観政策の進化」の考え方を踏まえ、すっきりとした水平ラインを形成する外観意匠とすることで未来の京都に繋ぐ先進性を表現する。

また、西陣や茶道など、上京に根付く伝統・文化を伝えるための展示スペースを設ける。

(5) 地球環境に配慮した総合庁舎

ア 太陽光発電設備の利用，自然換気による自然エネルギーの利用，屋上緑化や省エネガラスの採用により，外部からの熱負荷の低減を行うことで地球環境にやさしい施設とする。

イ 下水道への負荷低減を図る雨水流出抑制槽を設けるほか，井戸水・雨水を便器洗浄水や散水に利用するための設備を設ける。

ウ 区民交流スペース，待合ロビー，会議室などの区民の皆様が利用される場所に，

木材による内装仕上げを行うほか、家具工事ではカウンター、記載台、ベンチ等に、外部では今出川通に面した1階に設ける縦格子に、木材を採用する。

(今後の予定)

- 平成23年度 整備手法等検討，事業者選定，整備用地取得，現区役所庁舎解体設計，
仮庁舎整備工事
- 平成24年度 仮庁舎へ移転，現区役所庁舎解体工事，埋蔵文化財調査
- 平成25年度 着工
- 平成26年度 竣工，供用開始

完成イメージ図



